



いのち THEIR LIVES WERE TOO SHORT 生命のメッセージ展

Since 2001

メッセージ展のまめ知識

「生命(いのち)のメッセージ展」とは

殺人・悪質な交通事犯・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどの結果、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。「命の重さ、尊さ」を訴え、犯罪のない社会を創造し、未来の命を守る事を目的としています。犠牲者の発する声なきメッセージを受け止めてくださる来場者もまた主役なのです。

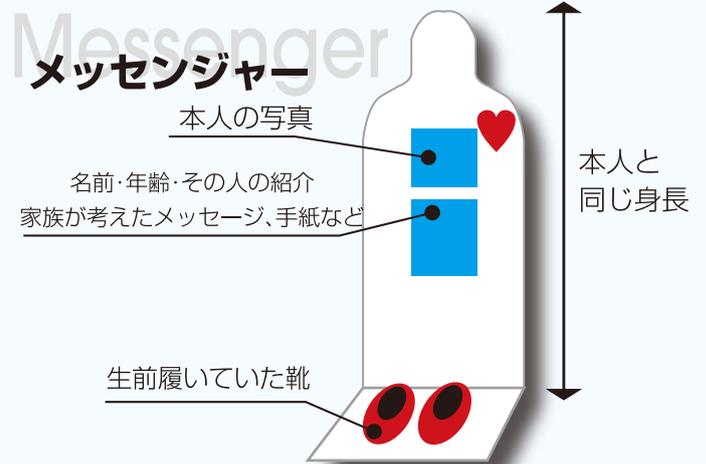
後援：内閣府・文部科学省

メッセージ展の開催について

下宿屋（鈴木共子さんの自宅）から全国各地に出向いて、命の大切さを伝えています。開催についてのご相談はいのちのミュージアム事務局までお申し出下さい。小規模な開催（ミニ・メッセージ展）や映画、講演などの複合開催も可能です。

メッセンジャーとは

犠牲者の等身大人型パネルです。生前の写真とメッセージ文を添え、足元に遺品の「靴」（足跡＝生きた証）を置いています。無念にも亡くなり、生きてくても生きられなかった犠牲者からの「未来につながる命」を守るためのメッセージを聞いて、感じてください。



映画「0(ゼロ)からの風」

19歳の一人息子が無免許、飲酒運転、車検切れの暴走車にはねられて失った母親が、「命の重さ」を法律の中に反映させて欲しいと、「悪質な交通事犯の厳罰化」を求めて奔走した実話を基にした映画です。田中好子さん演じる主人公の母親役は、「生命のメッセージ展」代表を務める鈴木共子さんがモデルとなっています。



寄付プロジェクト supported by 夢の貯金箱

上映・講演・メッセージ展の開催についてのご質問は office@inochi-museum.or.jp までご連絡下さい。
<http://www.inochi-museum.or.jp>

いのちのミュージアムへのアクセス



京王線・多摩モレール・高幡不動駅下車。

「百草団地行き」「帝京大学構内行き」「聖蹟桜ヶ丘駅行き」「三沢台下行き」のいずれかのバスにて百草センターバス停下車。徒歩6分

百草台児童館の前を通り過ぎると直ぐ左に見えてきます。

ミュージアムの運営のための賛助会員の申込と、ご寄付を受け付けております。

「被害者支援の啓蒙啓発」「いのちの教育」「矯正教育」などの活動へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

個人・法人会員とも一口3,000円（何口でも可）で、年会費の振込により会員登録させていただきます。

振込口座： ゆうちょ銀行 記号：10320 番号：46553051 口座名義：特定非営利活動法人いのちのミュージアム

